

瀬田東小学校2023年度(令和五年度) 校内研究

(1)研究主題

ことばを大切にし、
ともに高め合う子どもの育成
～身を乗り出して聴きたくなる授業を目指して～

(2)研究主題概要

本校には3つの校訓がある。その一つに「目と心と耳で聴く」があり、人の話に耳と心を傾けて聴き、相手の思いを受け入れ、ともに育つ子供の育成に力を入れている。

そのような中で、本校の児童の実態を見てみると、学習においても、学校生活においても「言葉」の未熟さがが見て取れる。「言葉」の力を育むことで、友達と豊かな人間関係を築いたり、学びを深めたりすることができると考え、主題を設定した。

(3) 研究方法

- ①子どもが身を乗り出して聴きたくなる授業をつくるために、どのようなしかけや働きかけが有効なのかを明らかにしていく。
- ②子どもが身を乗り出して聴きたくなる授業をつくることで、言葉の力がどのように育まれたのかを明らかにしていく。
- ③授業公開において、授業者、授業学年は、実践記録を作成し、その授業の振り返りができるようにする。また、授業参観を通して、学んだこと、考えたことを先生同士で交流し、それぞれの学びを振り返り用紙に記入する。振り返り用紙に書かれたことは、研究通信を通して学校全体に広げていく。

(4) 研究実践

授業日	学年	学習内容
5月24日	4年	算数科「折れ線グラフ」
6月28日	わかあゆ	生活単元「わかあゆモール」
7月12日	3年	算数科「表と棒グラフ」
9月20日	2年	算数科「三角形と四角形」
11月1日	6年	道徳科「ロレンゾの友達」
11月8日	1年	国語科「じどう車くらべ」
12月6日	5年	算数科「割合」

(5) 過去5年間の研究主題

- ・平成30年度(2018年度)
「主体的・協同的な学習活動で考える力をつける教育課程の創造」
～思考を表現する言語活動を通して深める学び～
- ・平成31年度(令和元年度)(2019年度)
「主体的・協働的な学習活動を通して、考えを深めていく授業の創造」
～考えを広げ深めていくための言語活動を軸とした授業づくり～
- ・令和2年度(2020年度)
「主体的・協働的な学習活動を通して、表現する力を磨く授業の創造」
～授業間を効果的につなぐ家庭学習の在り方～
- ・令和3年度(2021年度)
「主体的・対話的な学習活動を通して、共に高め合い夢中になっていく体育科学習」
～学びをつなぎ、子どもをつなぐ単元デザイン～
- ・令和4年度(2022年度)
「主体的・対話的な学習活動を通して、共に高め合い夢中になっていく体育科学習」
～学びをつなぎ、子どもをつなぐ単元デザイン～

(6) 研究の成果

子どもが身乗り出して聴きたくなる授業をつくるためには、以下の4つの点が大切であることが研究を通して見えてきた。

①学習のベースとなる規律が整っていること

②どの子ども参加できる支援がされていること

- ・選択問題を多く取り入れる。
- ・視覚的な資料を充実させる。
- ・学習の見通しをもたせる。
- ・単元や授業の展開を構造化する。 など

③主体性を引き出す工夫がされていること

- ・子どもの思いから授業を組み立てる。
- ・他の教科の活動と関連付ける。
- ・生活経験と結びつけて答えられる問いをつくる。 など

④教師による適切な言葉や働きかけがあること

- ・全体交流の中で、子どもの「わからなさ」や「変化」を引き出す。
- ・子どもの発言をさらに考えたくなるように問い返す。
- ・子どもの発言を既習事項と結びつける。 など